

報告 1 令和元年度相互交流を生かした人材育成講座の実施結果について

1 概要

- (1) 日 時 令和元年 11 月 19 日 (火) 14:00～15:30
- (2) 場 所 J A M S T E C 横浜研究所 (横浜市金沢区昭和町 3173-25)
- (3) 参加者 13 名 (申込者 14 名)
- ・ネットワーク会議 2 名
 - ・環境教育指導者 2 名
 - ・猿島公園専門ガイド協会 3 名
 - ・環境企画課及び事務局 6 名
- (4) 内 容 施設見学 (14:00～15:30)
- 概要説明⇒地球シミュレータ⇒地球情報館⇒水圧実験

2 講座概略

(1) 概要説明

施設に到着後、地球情報館を見学しながら開始時刻を待ち、ゲストハウスに移動し、海洋科学技術戦略部広報課二名の方から J A M S T E C の映像を見ながら概要について説明していただいた。

(2) 地球シミュレータ見学

2002 年 3 月の運用開始から、2 度のシステム更新やそれに伴うシミュレータの能力・速度について模型で説明していただいた後、現在の地球シミュレータの見学を行った。

(3) 地球情報館

映像展示室では、直径 3 m の半球スクリーンで地球シミュレータから得られた情報を基に大気汚染や海面が上下する様子など宇宙から見た地球の姿を体感することができた。

2 階では、「深海でみつけたデブリ」のギャラリー展示を行っており、地球環境問題の 1 つである海洋プラスチック汚染について、様々な画像を見ることができた。

(4) 水圧実験

「おやつカップ麺のカップに深海と同じ水圧 (水深約 200～1,000m) をかけるとどうなるか」という実験を行い、水圧をかけた後のカップの状態を説明していただき、実験後はカップのプレゼントがあった。

3 参加者の意見 (抜粋)

(1) 今後の環境教育活動に参考となる内容か

- ・参考になった 7 名

(2) どんな点が参考になったか (複数回答)

- ・地球温暖化、気候変動等地球環境に関すること 4 名
- ・資源循環・廃棄物に関すること 5 名

- ・説明者の伝えかた 4名
- ・その他 2名

(深海デブリ、深海のゴミの展示パネルの見せ方が啓発に有効だった)

(3) 今後研修で取り上げてもらいたいテーマ (複数回答)

- ・緑の保全や創出 4名
- ・水辺環境の保全や創出 0名
- ・生物多様性 2名
- ・大気や水質 0名
- ・地球温暖化やエネルギー 5名
- ・ごみ問題 3名
- ・その他 0名

(4) 講座についての感想および環境教育についてのご意見等

- ・暮らしを良くするために活動している研究所とは知らず、とても有意義だった
- ・デブリの問題は身近に感じられた
- ・スーパーコンピュータの性能が上がり設備 (大きさ) が 4/1 と聞き驚いた
- ・今後の日本の産業の発展方向
- ・現状打開の技術的解決策等について考えさせられることが多く有益だった
- ・研究者のプレゼンがあるとより良かった (2名)
- ・「JAMSTEC横須賀」にも行ってみたいとなった
- ・普通の見学コース+α (例えば研究者の話など) があると、より多くの人に参加してもらえと思った

4 考察

参加者全員が「参考になった」と回答しており、実際の雰囲気からも非常に興味を持って参加しているのが感じられた。質疑応答でも活発に質問が飛び交い、参加者の普段の環境活動等に絡めた質問もあり、学びを深めることができたのではないかと思う。

本市に所在する JAMSTEC 横須賀本部とは研究内容が異なる横浜研究所 (地球コンピュータ等) を見学でき、地球温暖化予測などの身近な環境についての説明もあり、非常に興味深い内容であった。参加者アンケートの内容も参考に、今後の人材育成講座の内容を考えていく。

